

一宮市立尾西第三中学校 教育目標

(1) 本校の教育目標

「やる気の三中 熱意をもって」を掲げ、「地道・徹底」を貫き、「自立・貢献」できる生徒を育成する

めざす生徒像	○【健康】健康で明るい生徒
＜校訓＞	○【自主】よく考え、自ら学ぶ生徒
	○【礼儀】規則を守り、礼儀正しい生徒

めざす学校像	○生徒・保護者・地域にとって、安全で安心できる学校
	○生徒が「友達大好き、先生大好き、学校大好き」と感じる学校
	○心身ともに健康で、常に笑顔で協働できる教師が集う学校

(2) 経営方針

- ア 確かな学力の育成のために、「わかる・できる・身につく」授業づくりを進め、基礎基本の定着と学習意欲の向上を図る。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、多様な他者と協働しながら学ぶ態度を身に付け、学びを深められるよう授業改善を推進する。
- イ 豊かな心の育成のために、道德教育の充実に努め、自己肯定感を高め、他者を理解する心を育てる。また、自立と自律を意識させるとともに、思いやりと感謝の気持ちを育て、規範意識の向上を図り、居心地のよく、共感的な集団づくり、温かい人間関係づくりを推進する。
- ウ 健やかなからだの育成のために、体育の授業・体育的行事・運動部活動を充実させ、運動に親しむ習慣と体力の向上を図る。また、健康教育や安全教育、食育を推進し、規則正しい生活習慣を身に付けるとともに自分で自分の身を守るスキルと意識を高める。
- エ 信頼される学校づくりのために、教職員にとって働きがいのある学校づくりを推進するとともに、使命と責任感、教育的情熱をもち、各研修への積極的な参加と意図的・計画的な校内研修を推進する。また、「開かれた学校づくり」「魅力ある学校づくり」のために、学校運営協議会の充実、地域との連携を図り、信頼され、誇れる学校にする。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 確かな学力の育成

基礎基本の定着とともに、生徒同士の協働、教職員等との対話を手掛かりに「考えること」を通じて、授業及び活動全般において、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」の充実に努める。

- (イ) 授業では、「めあて」「まとめ」を提示し、「ふりかえりや定着・活用のための時間」を確保する。
- (ロ) 家庭学習の習慣化を図り、自主的な学びを目標とした学習の取り組み方の指導の工夫と実践を進める。
- (ハ) 個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けた ICT の効果的な活用を進める。

イ 豊かな心の育成

- (ア) 教育活動全体を通して、人権・特別支援・道德・福祉教育・情報モラル教育等の充実に努めるとともに、日常の授業や活動を通して人間関係力の向上を目指す。
- (イ) 読書活動や体験活動を充実させるとともに、生徒同士が互いに認め合える場を設定し、思いやりと感謝の気持ちを育てる。
- (ロ) QU等を活用し、教員の学級経営力や生徒理解力を高め、生徒の人間関係力の向上を図る。

ウ 健やかなからだの育成

- (ア) 体育の時間や部活動などを通して、運動に親しむ習慣と体力の向上を図る。また、食育を推進し、望ましい生活習慣の定着を図る。
- (イ) 生活・交通・大規模地震などの災害安全の基本的な事項を具体的に指導し、安全に対する意識を高める。また、事故を未然に防止する態度と能力を育成する。

エ 信頼される学校づくり

- (ア) 教職員が使命と責任感、教育的情熱をもち、「教師力」の向上を図るために、各研修への積極的な参加と意図的・計画的な「OJT」による校内研修を推進する。
- (イ) 小中連携を常に見直し、9年間を見通した教育活動を一層進める。
- (ロ) 学校ウェブサイトや各種たよりの充実を図り、学校での教育活動の状況を公開するとともに、家庭・地域の意見を教育活動に生かす。
- (ハ) 「あったかい学校」を目指し、生徒同士・生徒と職員・職員同士及び保護者や地域との温かな交流ができる学校づくりを推進する。

オ 多忙化解消にかかわる業務改善に努め、生徒たちに対して効果的な教育活動を行うために教員の働き方改革を進め、在校時間の縮減（月30時間以内・年間360時間以内）を徹底する。